

2026年4月20日
大学院政治学研究科

グローバル公共政策コースの学生募集停止と政治学コースの再編について

大学院政治学研究科修士課程および博士後期課程の政治学専攻に設置しているグローバル公共政策コースについて、2026年度をもって募集停止とし、2027年4月より同専攻の政治学コース内に一つの研究領域として再編することを決定いたしました。詳細については、下記の通りとなります。

記

1. 背景と目的

グローバル公共政策コースは、大学院公共経営研究科（2012年度募集停止）および本研究科公共経営専攻（専門職学位課程）（2021年度募集停止）の設置理念・教育内容を引き継ぐものとして、2021年度より本研究科政治学専攻内に設置され、高度な専門性と国際性を有し、科学的根拠に基づく政策立案・評価を行うことの出来る人材育成に取り組んで参りました。しかしながら、同コースは本研究科の他の研究領域から切り離された位置づけのため、研究教育上、本研究科のリソースを生かし切れない状況にあります。

今回、政治学コースの中に「公共政策研究領域」を新たに設置することにより、公共政策分野の研究教育を本研究科全体で一丸となって推進していく体制を構築して参ります。これにより、これまで以上に優秀な学生を迎え育成する環境が整い、当該分野における本研究科の国際的地位をさらに高めていくことに繋げていきます。

2. 方法論教育と人材育成

本研究科の政治学コースが旗印として掲げてきた方法論教育を徹底して行い、エビデンス・ベースで公共政策を分析し論じ、かつ、新しい問題解決策の提案ができる人材を育てます。また、政治学コースでは日本語のみならず英語での成果物刊行を当たり前とする文化が定着してきましたが、これを公共政策研究領域にも取り入れ、学生が公共政策分野での知的生産を国内外で積極的に行うのが当たり前となる環境を作り出します。併せて、政治学に根差した行政、意思決定と公共政策の実施運営、分析を担う高度専門人材を養成します。

3. その他変更点

グローバル公共政策コースで授与する学位は「修士（公共政策）」、「博士（公共政策）」ですが、公共政策研究領域となった後はそれぞれ「修士（政治学）」、「博士（政治学）」となります。入学金・学費・諸会費については、本研究科 Web サイトに掲載されている入試要

項の「入学金・学費・諸会費別表」を参照してください。

コース再編のイメージは以下のとおりです。

現行	2027年度～
政治学専攻 修士課程（収容定員270名） 博士後期課程（収容定員90名）	政治学専攻 修士課程（収容定員270名） 博士後期課程（収容定員90名）
政治学コース 現代政治研究領域 政治思想・政治史研究領域 比較政治研究領域 国際関係研究領域	政治学コース 現代政治研究領域 政治思想・政治史研究領域 比較政治研究領域 国際関係研究領域 公共政策研究領域
ジャーナリズムコース	ジャーナリズムコース
グローバル公共政策コース	

グローバル公共政策コースへの出願を検討されていた方は、政治学コースへの出願をご検討ください。

以 上